



学生の就職活動、大卒初期キャリアに関する研究

研究の概要

日本は労働者人口が激減することが予測される今、雇用側が中長期的な視点で若者の職場定着を真剣に見直すときに来ていると考えています。大卒初期キャリアの早期離職は、雇用する側にとって大きなマイナスでもあります。

大卒初期キャリアのアンケート調査と実際の早期離職者インタビューに基づき、学生時代の就職活動時の活動量・満足度と入社前のRJP、入社後のリアリティ・ショックに着目し、現況を把握し課題を整理。特に採用手法が異なるといわれている文系／理系の軸、女性活躍推進法（2025年度までの時限立法）が施行されて9年目を迎え、ジェンダー平等が推進されている現在において、男性／女性の性差軸で早期離職行動に違いがあるのかどうかについても検証しています。また、近年「採用革新」がみられるといわれており、特に新卒の採用手法として、人材紹介やオファー・スカウト型といわれるものが注目されています。入社エントリー別（従来型、人材紹介型、オファー・スカウト型）、コロナ禍前後入社別で早期離職行動に違いがあるのかどうかについても研究を行っています。

研究の特徴

例年 350 件程度、現役生・卒業生からのキャリア相談を受けます。毎年多くの学生を教育・支援し、送り出す立場ではありますが、必ず起こるのが就職先のミスマッチです。このミスマッチを極力なくするにはどうすればいいか、にいつも頭を悩ませています。学生が就職活動にどのように取り組めばいいか、学生から社会人への移行期、そして社会人になってからの組織社会化の中でどのようにすれば「職場定着」に繋がるのか、といった研究をしています。この研究の中で、雇用される側、雇用する側双方の視点から大卒初期キャリアの早期離職を極力少なくするにはどうすればいいかを明らかにしたいと考えています。

行政・経済界・地域と連携した取り組み例

- ・和歌山県内大学卒業生等の就職先や県内企業の需要に関する調査研究（和歌山県より受託、2021-2023 年度）
和歌山大学の学生を対象とした就活に関するヒアリング調査報告書
和歌山県内企業を対象とした新卒採用に関するアンケート調査報告書
- ・大学と和歌山県内人事・採用担当者でつくる人材の育成と定着の研究会（和歌山県との共催、2023 年度）
採用力アップセミナー
- ・女性リーダー養成講座（和歌山県、2014-2023 年度）
- ・女性対象キャリア研修（太洋工業、2015 年度、紀陽銀行、2016 年度・白浜町、2019 年度・地方検察庁、2021 年度）
- ・子育て家族対象ライフキャリア研修（和歌山市、2015 年度）
- ・大学生対象キャリア形成講座（奈良県、2017-2018,2022 年度）
- ・大学生保護者対象就職活動支援講座（和歌山県・和歌山市 2020-2021,2023 年度）
- ・臨床研修医対象キャリア研修（南奈良総合医療センター 2021-2023 年度）

研究者からのメッセージ

インターンシップや産学連携キャリア教育コーディネートをしています。採用コンサルティングの業務経験があり、新卒採用戦略についても相談もお受けしています。キャリアコンサルタント、CDA、でもあります。

研究分野： 職場定着，大卒初期キャリア，新卒採用

研究者の所属部局・職位・氏名： 和歌山大学経済学部 経済学科・准教授・本庄麻美子

本件に関するお問い合わせ：liaison@ml.wakayama-u.ac.jp